



日本のGDP(国内総生産)に占める家計消費は5割超です。一人ひとりの消費は小さいかもしれませんが、多くの人が“エシカル”な商品を選ぶことで、企業も“エシカル”な商品の開発・生産に注力するようになります。そういった小さな力が社会を変える大きな力となります。代表的な取り組みとして、地産地消、有機栽培、フェアトレードなどがあります。

# エシカル

影響をしっかりと考える

「エシカル」とは、「倫理的な」「道徳的な」という意味を持ち、一般的には、人や社会、環境に配慮した考え方や行動を指す言葉として用いられます。


- ①それって本当に今、必要？立ち止まって考える — 似たようなものを持っていませんか？
- ②ポリ袋いりません — マイバッグを持参するよう心がけましょう
- ③使う量を減らす — アクリルたわしを使うことで洗剤の量を減らす など
- ④修理して長く使う — 機械を修理する、衣服を修繕するなどして長く使う
- ⑤中古品を再利用する(リユース) — バザーなどを積極的に利用しましょう
- ⑥違うものとして再生する(アップサイクル) — ペットボトルを洋服に、古いデニムをバッグに など
- ⑦再資源化する — プラスチック製容器包装、ペットボトル、缶、びん など
- ⑧食品ロス削減 — 買い物をするときには手前取りをする

令和6年度	令和7年度
1人あたりの燃やせるごみ処理費負担額	
22,092円	→ 21,596円
プラスチック製容器包装搬入量	
81.61トン	→ 77.51トン

10kgの燃やせるごみ 処理費	731円
10kgの燃やせないごみ 処理費	1,201円

生ごみは  
堆肥として畑へ  
微生物の力で  
安心・安全に  
野菜をつくって  
ごみをゼロに

※全国のごみ処理費は住民1人あたり、18,000円から20,000円程度です。

プラスチック製容器包装の搬入量が減少しています。プラマーク  のあるプラスチックを分別し、資源としましょう。もったいないを合い言葉に。

☎ 生活と環境を考える会 32-2386  
住民環境課 32-1104

## 「せせらぎに ぼくも魚も すきとおる」

7月は河川愛護月間です

子どもの頃から遊んだ郷土の川  
魚釣りや散策、いつも変わらぬ自然の恵み  
水と緑に囲まれて、私たちに癒しを与えてくれる川  
そんな川をいつまでも美しく

国土交通省 木曾川上流河川事務所  
<https://www.cbr.mlit.go.jp/kisojyo/index.html>